

Japan IT Security Strategies (Japanese Version with Key English Language Reports)

ランサムウェアを利用したサイバー攻撃による被害は、ビジネスやサービスを提供するあらゆる企業や組織に波及し、サプライチェーン全体を考慮したセキュリティリスク、Generative AI 利用におけるガバナンスやセキュリティポリシーの策定など、CIO/CISO の課題は多岐に渡ります。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan IT Security Strategies (Japanese Version with Key English Language Reports)」では、情報セキュリティを実現する製品（ハードウェアおよびソフトウェア）およびサービス市場全体を調査対象とし、主に企業の情報セキュリティ対策動向に焦点をあて、調査/分析、予測を行います。また製品を目的別に分類し、詳細な市場、ベンダー動向/予測やテクノロジーの将来の方向性についても情報を提供します。2025 年は、Attack Surface Management を調査対象とし、市場予測やユーザー調査を行います。

MARKETS AND SUBJECTS ANALYZED

- セキュリティソフトウェア（On-Premise、SaaS）
- セキュリティハードウェア

CORE RESEARCH

- 国内情報セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 競合分析
- 国内サイバーセキュリティ市場予測
- 国内サイバーセキュリティ市場 競合分析
- 国内情報セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査
- IDC FutureScope: Worldwide Future of Trust 2025 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan IT Security Strategies \(Japanese Version with Key English Language Reports\)](#).

KEY QUESTIONS ANSWERED

1. 国内企業の情報セキュリティ導入状況、また今後の導入についての方向性とベンダーに対する期待は？
2. 国内情報セキュリティ市場規模と今後の予測は？
3. 情報セキュリティにおける最新テクノロジーと、ベンダーが用意している製品は？
4. 国内 IoT セキュリティ市場規模と今後の予測は？
5. 情報セキュリティソリューションの導入実態と動向および市場規模は？
6. 国内情報セキュリティ市場での成長要因は何か？
7. 国内情報セキュリティ市場に必要なビジネス戦略とは？

COMPANIES ANALYZED

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

ALSI、BlackBerry、Canon、CrowdStrike、Digital Arts、ESET、FFRI、Google、IBM、NEC、Netskope、Trellix、VMware、Zscaler、シスコシステムズ/Splunk、ソフォス、チェックポイントソフトウェア、

トレンドマイクロ、日本ヒューレット・パカード、パロアルトネットワークス、フォーティネット、富士通、マイクロソフト、その他